

「雑草魂」 第 6 1 号

2021.1.27(水) 編集責任者：橋山 直記

☆有明高専入試の感想☆

面接を終えて、有明高専の先生方や面接官がとても親切で優しく、あまり緊張せずにリラックスして臨むことができました。面接日前日は自分が好きな音楽を聞いたりしてリラックスして過ごせ、また 22:30 には寝れたため、ぐっすり寝ることができました。しかし、面接日当日は朝からとても緊張していました。自分は午後の部だったため、11:00 に家を出て、1 時間かけ有明高専に行きました。道中、何度も練習をしていました。有明高専に到着するとすぐに多くの受験生がおり、その姿を見るたびに緊張感が増しましたが、橋山先生が何度か言ってあった「我も人なり、彼も人なり」を繰り返し自分に言い聞かせ落ち着かせていました。その後、受付時間が近づき、面接会場の中へ入ると受付のスタッフの方がとても明るくあいさつを返してくださいました。この時、緊張が一気になりました。その後、待機室で 1 時間ほど待っていましたがどの係員の方も優しく、慧が後ろだったためとてもリラックスできました。受験番号が呼ばれ、面接室まで移動する時は再び緊張しました。しかし、いざ面接がスタートすると、面接官の 2 人はとても優しい口調で質問をしてくださり、ほとんど緊張することなく冷静に受け応えできました。面接というよりは会話形式で応えたことに一つ一つ質問されたり、確認されたりするような感じで臨機応変さは必要でしたが、途中笑顔で応えることができ、自分から 3 年間やってきたことや有明高専での入学の意欲を伝えることができました。特に後悔はありません。今回リラックスして面接に臨めたのは、校長先生や地域の方々による多くの練習量による自信や友達の応援のことばのおかげでもありました。この経験をこれから高校受験を受ける人やこれからの自分にも活かせるように伝えていきたいです。また、この日のために様々なサポートをしてくださった、先生方や親、友だちなどに感謝を伝えたいです。

思っていた 2 倍緊張しました。今日の面接のために親、家族、学校の先生や友達たくさんの人の支えがあって受けることができ、この感謝を大切にしながら受けることができました。高専に着いて、集合場所へ行き、そこから面接の順が回ってくるまで、1 時間あり、集中を切らさないようにすることがとても大変でした。また、周りの緊張にのまれそうになっても支えてくれていた友達や家族、先生の事を考え、とても勇気が出ました。面接でも自分の言いたいことが大きな声でハッキリ言えたのでよかったです。面接官の人もとても優しい先生で、話しやすく、しっかりと自分をアピールできたと思います。かんでもゆっくり言い直すこともでき、礼儀もうまくできました。今まで、面接の練習を友達、校長先生、先生方にとっても感謝したいです。次は公立の推薦入試があるので、この経験を生かして、次は僕が支える番になっていきたいと思っています。また、学校だけでなく家でも、親にたくさん支えてもらっていたことが改めて分かりました。これからも勉強を頑張り、将来の夢を叶えていくことで恩返ししていきたいです。本当に、たくさんの人のおかげで、今の自分があることに感謝していきたいです。これからも頑張っていきます。

☆祐誠高校入試の感想 Part 3 ☆

自分の持っていた力を十分に発揮できたと思います。最初作文のお題が見えたときは、ドキドキしていましたが、集中すると、どんどんかけて、しっかりと最後の行まで書けました。私は、あまり作文は得意な方ではありませんでした。だから、練習の時も、1つ1つを一生懸命書いて、アドバイスを頂き、どんどん良い作文が書けるようになりました。そのおかげで本番の作文も良い作文が書けたと思います。本番の緊張感は、あの場所にかねいと味わえない緊張感で、すごくドキドキしていました。作文が終わって少し安心したけど、すぐに面接の出番が来て、もっと緊張しました。練習の時から緊張していたので、本番は、すごい事になりそうだと思っていました。面接官が2人いて、急にパニックになりそうでしたが、練習の時を思い出して、がんばりました。でも、練習の時には言えていた事が、本番で早くなったり、言葉がからまったりして少しおどろきました。やっぱり本番の緊張感はすごかったです。私達は、作文と面接しかなかったの、その2つをしっかりとがんばらないといけないと思い、一生懸命練習をがんばりました。あまり、自信はないけど、自分が持っているもの、自分が出来ることは、全て出し切る事ができたと思います。

とても緊張していて面接のときも少し震えてたけど面接の先生がやさしく質問をだしてくださったのでしっかりと質問に答えることができました。テスト中では教室の回りでいろんな先生が見はりをしてました。時間いっぱいテストにとりくむことができた。国語のテストの空欄を少なくすることができたしかし数学のテストの二次方程式などの計算問題で苦戦してしまった。

私が入試を終えて感じたことはたくさんの方々を支えられてここまでこられたのだなと感じました。担任の橋山先生には面談等で自分の将来と向き合ってもらい土曜日や放課後に勉強法や学力を上げるための計画の立て方を教えていただきました。そして、久美子先生や永尾先生にも放課後数学の基礎計算や英語の基本となる単語のプリントを用意してください、冬休みには入試に受かるよう数学、国語、英語のプリントを大量に用意していただきました。そして学校の先生だけでなく、何より親に支えられていると思いました。入試の前に親から貰った手紙や受験するための費用等すべてされてあたりまえと思えるような事は感謝すべき事だと改めて思いました。これからは自律するための第一歩を踏み出せたので自分の力でできることは親に頼らず自分で精一杯していこうと思います。

